

論語素読体験

～足利学校にて～

6月10日（金）と16日（木）の2班に分かれて、西中1年生が足利学校において論語の素読体験をしてきました。講師の先生は西中学校の元校長先生で、現在も西中学校の学校評議員として大変お世話になっています。

その論語素読の先生から、生徒のあいさつ、素読の姿勢、声の大きさについて「素晴らしい！」というお褒めの言葉を頂けたことは大変有り難いことです。



←講師の先生と生徒

↓生徒の感想です。

論語のことをよくは知らなかったのですが、今回お話を聞いて良かったです。論語素読の先生のお話を聞いて特に印象に残っているのは、「宥座の器」のお話です。
「集団で行動するときには公平に、自分の意見はほどほどに」というところに感心しました。
私は意見を言いすぎてしまうことがあるので、そんなときにはこのお話を思い出して、ほどほどにしたいと思いました。

「学んで習う。」これを教えていただきました。自分も学んで、学んだことを復習していきたいと思います。
論語は難しそうだなと思っていましたが、わかりやすく説明してくださってありがとうございました。
自分にとって難しいと思えることもありますが、少しずつ少しずつ意味などをわかっていきたいなと思います。

私は、論語素読の先生が強くおっしゃっていた、人への「思いやり」についてのところが強く印象に残っています。
私も、相手のことをよく考えもせず、自分自身では思いやっているつもりでいたときがあったらと思うなと思えました。

道徳の研究授業

星野富弘さんを取り上げました。

6月16日（木）に1年5組を会場に道徳の研究授業がありました。事前に全クラスで授業に取り組み、5組が代表して授業をし、今年度採用の先生方と教育委員会の先生方らが参観しました。



←授業を行う先生方



授業中のようす →

<生徒の感想> 生徒の感想の一部を紹介します。

- ・星野さんが自分のやりたいことを見つけ、周りの人や家族に支えられて頑張ってくれたのは、自分に強い気持ちがあったからこそだと思います。
- ・「生きる」って、とてもすばらしい事なのだと思います。自分にできる事をさがせば、生きていけるとも思いました。
- ・頑張った分だけ良いことがある。今、生きている事に感謝したい。
- ・普通に生活できていることに感謝したい、何事にも精一杯生きていきたいと思いました。
- ・何かできることを考えていけば、生きる希望が見つかる。

7月の行事予定

日	行 事
1日(金)	期末テスト(2日目)、教育実習終了(1の5)
3日(日)	後援会資源回収
4日(月)	西中タイム(生徒会専門委員会)
5日(火)	集金袋配布
6日(水)	授業変更(水1.木1.木2.木3.水5)
7日(木)	集金日、1年歯科医師による歯みがき教室
8日(金)	授業参観、PTA学年部会・学級懇談会
11日(月)	西中タイム(激励会) 西中地区あいさつ運動(～15日)
12日(火)	特別支援学級合同宿泊学習(～14日)
13日(水)	「遠足」参加申込み締切り
14日(木)	授業変更(水3.木2.木3.木4.金5.木6)
15日(金)	授業変更(金1.金2.金3.水4.金5.総合)
18日(祝)	海の日
20日(水)	終業式(水1.水2.水5.終業式.学活)
21日(木)	地区総体予選会(～23日)

漢字コンテスト
第1回漢字コンテストの結果が発表されました。
平均 1年 47.104
全体 48.354
満点者が発表されます。先輩たちが頑張っているようです。1年生も頑張れ!

計算コンクール
50点満点で実施したところ、平均は40.067で、満点者は6名でした。
次回は2学期に実施します。

★授業参観・学年部会・学級懇談会

7月8日(金)です。
スリッパなど履き物の
用意をお願いします。

授業参観 14:00(各クラスの担任が授業をします。)
学年部会 15:10(遠足の説明や夏休みに向けての話があります。)
学級懇談 16:10～16:30

体育着等盗難事件について

最近、西中生の持ち物を狙(ねら)った盗難事件が起きています。盗まれたのは体育着・通学カバン・エナメルバッグ・下着です。家の中に干してあった物や、在宅中にもかかわらず盗まれています。家庭で持ち物の管理など話し合ってくださいと思います。また、不審人物を見かけたら、すぐに110番通報をお願いします。

人権教育コーナー

今回は、論語素読体験で講師の先生から説明していただいた内容のごく一部を紹介します。それは、

子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。

子曰わく、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ、と。

です。弟子の中でも若い子貢が、孔子に尋ねました。これはどういうことかということ、一言というのは、ひとことです。終身之れをとは一生涯のことです。「一生涯大切にしなければならぬ一言とはどんなものがありますか？」こう聞いたのです。そうしたら、孔子様がお話になった。

其れ恕か、「其れは恕だぞ！」では、恕とはどういうものか。それは、思いやりということです。「一生涯大切にしなければならぬのは思いやりを持つことですよ」ということです。

本当の思いやりというのは、人から嫌がられるようなことがあってはいけません。

その次の己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ、と。

本当の親切というのは、己というのは自分自身のことです。自分が欲せざる。自分は嫌だと思ふことは、人に施すこと勿かれ、人に施しは与えるということです。

自分が嫌なことを、親切みたいにしてやることは、かえってありがた迷惑になる。

「本当に、その人のためになるようなことをやるのが大事なのです。」

これが恕です。思いやりということです。

今の東日本大震災を考えてみましょう。津波で家族や友人がさらわれて行方不明。学校にいて、友達が波にさらわれて死んでしまったり、行方不明の人がいたり、先生までなくなってしまった。みんなが何とか頑張るように応援しよう。頑張るという言葉は抽象的です。だから、頑張ろうという言葉でなくて、被災者に激励ができるようなそういう行為をすることが、本当の思いやりでしょう。

(論語素読の先生の説明をきこえ学級の先生が文字に起こしてくださいました。)

★全文を7月8日の学年部会で配布します。どうぞお楽しみに！